



# SBSビジネスレポート

2014年12月期 期末株主通信  
2014年1月1日～2014年12月31日 証券コード:2384



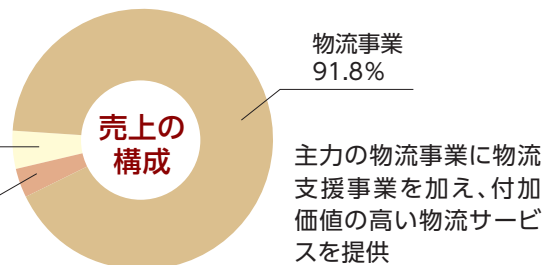
SBSグループは、あらゆる物流ニーズに優れた品質でお応えします。

当期の業績

■ 売上高	<b>1,415億円</b>
■ 営業利益	<b>41億円</b>
■ 経常利益	<b>36億円</b>
■ 当期純利益	<b>27億円</b>
■ 1株当たり配当金	<b>15円</b>

その他事業 4.6%  
(人材、環境、  
マーケティング、太陽光発電)

不動産事業  
3.6%



事業の概要



重点目標と戦略

3PL拡大と  
安定基盤(食品)確保  
**事業戦略**

アジアをターゲットに  
海外展開  
**海外戦略**

M&Aと  
物流施設開発  
**投資戦略**

**グループ経営基盤整備**

ローコストオペレーション体制～シナジーが発揮できる環境づくり

3つの戦略

業界トップグループをめざす  
**全方位の  
物流機能を有する  
3PL企業集団**

※ 本資料の将来の見通しに係る記述は、現時点で入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確定な要素を含む仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

# 中期経営計画 「SBS Growth 2017」の 達成に向けて M&Aや物流施設開発に 大型投資を行いました

代表取締役社長 鎌田 正彦

## 当期(2014年12月期)の経営環境

当期の物流業界は、消費増税に伴う駆け込み需要がありましたが、増税後の反動減の長期化に伴う個人消費の低迷により物量が伸び悩みました。

また、人手不足に端を発する備車費、パート・アルバイト費などの上昇による原価増、深刻化するドライバー不足など厳しい経営環境が続きました。このような環境のなか、当社グループは、中期経営計画「SBS Growth 2017」※をスタート。業界トップグループ入りを目指して掲げた事業戦略や投資戦略に丸となって取り組みました。

※「SBS Growth 2017」は、2017年12月期に売上高2,000億円、営業利益80億円を目指す中期経営計画



### ■ 新たなお客様や業務の開拓により 事業を拡大

物流事業は、提案営業を一層強化したことにより、スーパーやドラッグストア、百貨店などから来期以降につながる新規受注を獲得いたしました。また、食肉加工メーカー、百貨店、眼鏡レンズメーカー向けの3PLや物流センターの運営などが稼働いたしました。個人消費の低迷による既存業務の伸び悩みや一部業務の収益性悪化がありました。新たなお客様や業務の開拓によって事業の拡大を進めることができました。

### ■ 海外事業の基盤作りに取り組む

海外では、シンガポール現地法人の再編、同国ドレージ会社の取得によるコンテナ輸送事業への参入、



海外初となる自社倉庫をタイに竣工するなど海外事業の基盤作りに取り組みました。

また、インドのフォワーダーTranspole Logistics Pvt. Ltd. (現 SBS Transpole Logistics Pvt. Ltd.) の株式を取得し、子会社といたしました。アジアで急成長する同社を傘下にしたことは、中期経営計画の達成への大きな布石となると考えております。

### ■ M&Aや物流施設への 大型投資と資金の回収

当期は、海外子会社2社の取得、3PLの新規獲得に向けた物流施設用地の取得、太陽光発電設備の増設などに約150億円を投資しました。一方、オフィスビルの売却や物流施設信託受益権の私募ファンド「SBSロジファンド1号」への譲渡などで約55億円を回収いたしました。当社独自の「物流と金融の融合ビジネスモデル」を駆使することで、今後の成長に不可欠な投資と資金回収のバランスを取りながら業容を拡大してまいります。



長津田物流センター（2015年春稼働）

## 中期経営計画 <SBS Growth 2017>

### ■ 当社グループが目指す姿

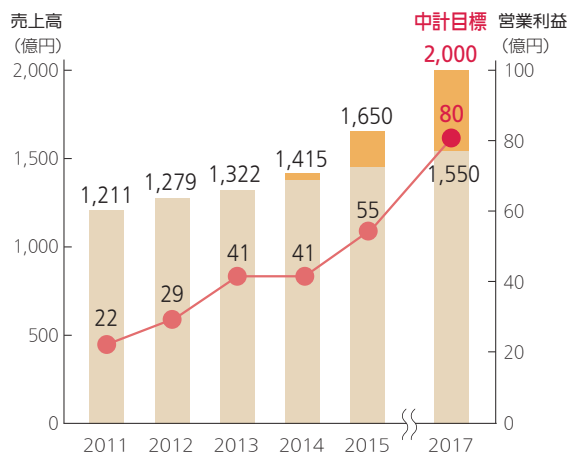
“全方位の物流機能を有する3PL企業集団”を結成し、日本国内に留まることなくアジアを代表する物流企業として業界トップグループ入りをめざす

### ■ 中期経営方針

- お客様に選ばれる現場力を磨く
- グループ力を結集する
- ベンチャースピリット集団であり続ける
- 持続的な成長を果たす
- コンプライアンス、CSRを重視する経営を貫く

### ■ 数値目標

■ 売上高(自立成長) ■ 売上高(M&A寄与) ● 営業利益



### ■ 来期(2015年12月期)は、 営業力とSBSブランドを強化

中期経営計画の2年目となる来期は、継続する1から4の方針に加えて「営業力とSBSブランド力の強化」を掲げ、新規受注の拡大と知名度の向上に取り組みます。

#### 1 3PL事業の更なる強化

提案営業力に一層磨きをかけ、新規顧客の獲得と既存顧客の深耕。

#### 2 物流不動産開発の推進

独自の“金融とロジスティクスの融合ビジネスモデル”を進化、拡大。

#### 3 海外展開の推進

ASEANを中心に、質の高い3PLビジネスを展開。

#### 4 M&Aの積極化

グループ規模と機能を拡充するパートナーの発掘、獲得。

#### 5 営業力とSBSブランド力の強化

お客様から選ばれ、人々が働きたい企業グループになる。

物流事業は、国内では新規業務の立ち上げが見込まれるほか、海外では当社グループ入りしたインドのSBS Transpole Logistics Pvt. Ltd.の業績が年間寄与いたします。不動産事業では新たな物流センターの竣工や物流施設の流動化を予定しております。

SBSグループは、今後も事業拡大と企業価値の向上に取り組んでまいりますので、株主の皆様には末永くご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 愛犬、愛猫のためのプレミアム専用サイトを運営

当社グループにおいて、eコマース支援サービス、ネット通販事業を展開するマーケティングパートナーは、プレミアムペットフード専門サイト「POCHI(ポチの幸せ)」と「tama(たまのおねだり)」を運営しています。自然、健康、安心、安全にこだわったペットフード、療法食やサプリメント、雑貨など1000品目を超える商品をセレクトしており、愛犬・愛猫を子供のように思う10万名の会員の方々にご利用いただいています。また、ペット栄養管理士による無料健康相談サービスも好評です。ぜひ一度ご覧ください。

### ■「tama(たまのおねだり)」 <http://www.tamaone.jp/>



### ■「POCHI(ポチの幸せ)」 <http://www.pochi.co.jp/>



### マーケティングパートナー株式会社

<http://www.marketing-partner.jp/>

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目4番 ダヴィンチ小川町4F

#### ■プランニング事業部

マーケティングプランニング、メディアプランニング、EC支援サービス、ECアウトソーシング、ECフルフィルメント、コールセンター運営

#### ■通信販売事業部

- ・プレミアムドッグフード専門サイト「ポチの幸せ」運営
- ・プレミアムキャットフード専門サイト「たまのおねだり」運営

## 初の海外自社物流施設が タイに完成

6月

(SBSグループ)

タイ最大の国際港であるレムチャバン港近郊に、SBSグループ初の海外自社物流施設の1号倉庫が竣工。8月には同敷地内に2号倉庫と寄宿舎棟が完成し、今後、3号倉庫も建設する計画です。



## 雪印メグミルク株式会社との 資本・業務提携

10月

(SBSフレック)

重要な主要取引先である雪印メグミルク様と、取引関係の更なる強化や双方の機能の相互活用による恒久的な事業拡大をめざし、SBSフレック株式の約34%を雪印メグミルク様が所有する資本・業務提携を実施しました。



## インドのTranspole LogisticsをM&A

7月

(SBSグループ)

アジア地域統括会社SBS Logistics Holdings Singapore Pte. Ltd.が、インドで急成長している国際物流会社「Transpole Logistics Pvt. Ltd.」の株式を取得し子会社化。SBSグループは海外事業における強力なパートナーを得ました。



## 大阪南港に関西初の物流用地を取得

11月

(SBSロジコム)

関西地区の事業基盤を強化するため、大阪市住之江区に約7,500坪の土地を取得しました。SBSグループでは、関西圏で初めての大型物流用地取得となり、1万5千坪クラスの物流センターを建設する予定です。



## 北陸新幹線用車両E7系を輸送

10月

(SBSロジコム)

2015年春に開業予定の北陸新幹線用車両E7系の輸送業務を受託。2014年初夏から秋にかけて、工場を組み立て製造された北陸新幹線3.5編成42両を、積み出し港まで陸上輸送するプロジェクトを完了しました。



## 横浜杉田物流センターの建設に着手

12月

(SBSロジコム)

2013年に横浜市の公募型指名競争入札で取得した、約5,200坪の土地に、延床約12,600坪の物流センター建設工事に着手しました。竣工は2016年春を予定。SBSロジコムのホームページの専用ページにて、適宜情報発信しております。

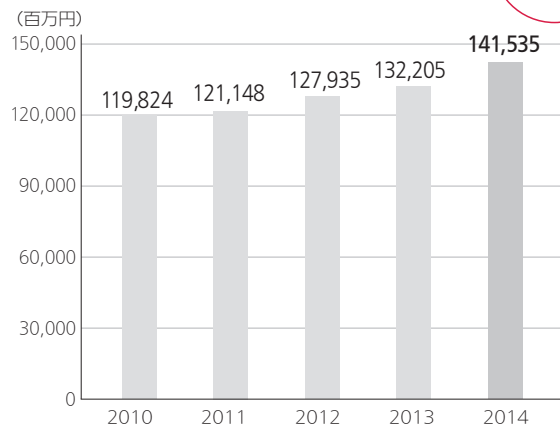


## 当期の連結業績

景気の先行きへの不安材料を抱えた状況が続くなか、3PL受注の拡大に向けて組織的に提案営業を強化したことにより、新規顧客や新規業務が拡大し、売上高は前年同期比で増加しました。一方、M&Aにかかるコスト増や通関事業およびCD・DVD物流事業の業績悪化などから営業利益、経常利益は減少しましたが、オフィスビルなどの固定資産売却益を特別利益に計上したことなどにより、当期純利益は増加しました。

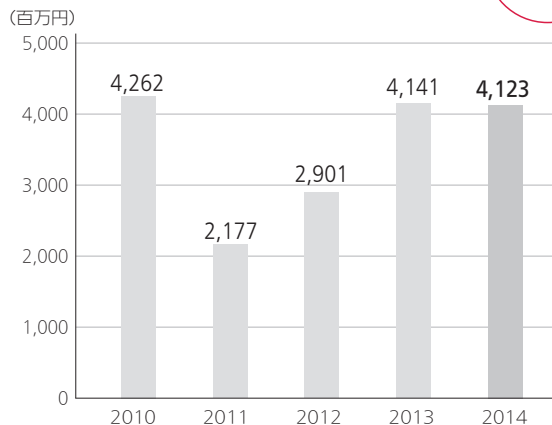
### ■ 連結売上高

前年同期比  
7.1%増



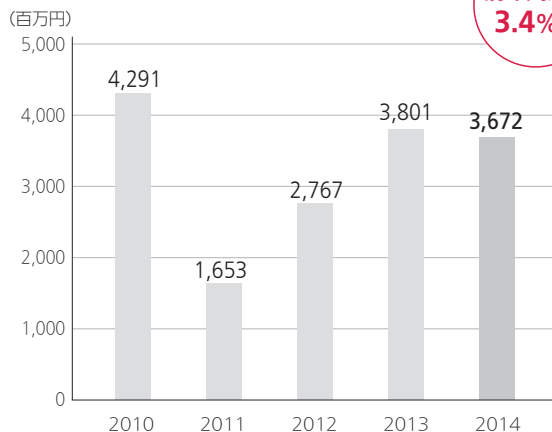
### ■ 連結営業利益

前年同期比  
0.4%減



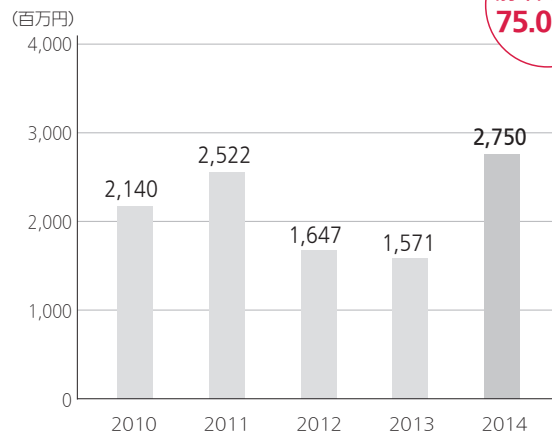
### ■ 連結経常利益

前年同期比  
3.4%減



### ■ 連結当期純利益

前年同期比  
75.0%増





■ セグメント別概要

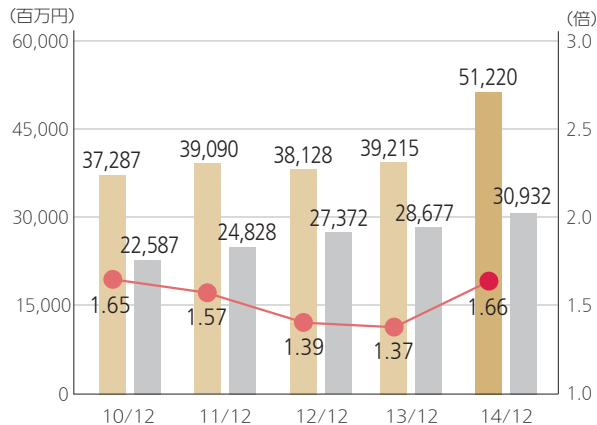
(単位:百万円)

	2014年通期		2013年通期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
物流事業	129,884	1,624	120,786	1,219
不動産事業	5,103	2,359	5,554	2,550
その他事業	6,548	344	5,865	202
調整額	—	△204	—	169
合計	141,535	4,123	132,205	4,141

- **物流事業**：3月までは、消費増税前の駆け込み需要のために物量が増加しましたが、4月以降は反動減と円安などの影響を受け既存の業務は伸び悩みましたが、新規案件の立ち上げなどにより、売上高は順調に拡大しました。一方、営業利益率は、燃料費が下落傾向にあることや料金適正化に一定の成果が得られたものの、備車費や作業費の上昇などにより足踏み状態が続きました。
- **物流支援事業**：不動産事業では、私募ファンド「SBSロジファンド1号」へ譲渡した物流施設の賃料収入などが減少したため、売上高、営業利益ともに減少しました。一方、人材事業は、人手不足を追い風に営業所を新設、整備し、人材派遣や紹介需要を取り込んだことにより、売上高、営業利益ともに増加しました。

■ ネット有利子負債／株主資本／ネットDEレシオ(右軸)

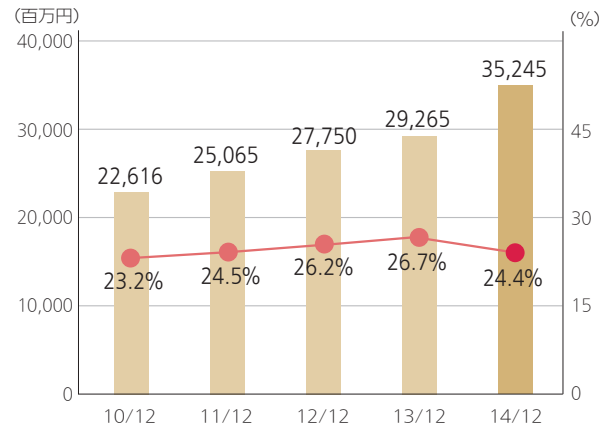
■ ネット有利子負債 ■ 株主資本 ● ネットDEレシオ



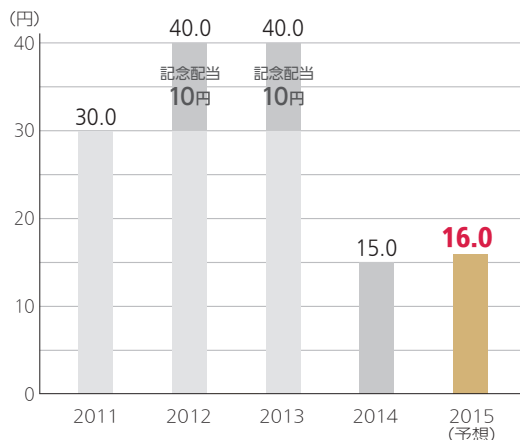
※ネット有利子負債=長期・短期借入金+社債-現預金  
 ※ネットDEレシオ=ネット有利子負債÷株主資本

■ 純資産／自己資本比率

■ 純資産 ● 自己資本比率



## ■ 配当金の推移



※2014年6月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。  
 ※2012年の記念配当は、東京証券取引所市場第二部への上場を記念して実施したものです。  
 ※2013年の記念配当は、東京証券取引所市場第一部への上場を記念して実施したものです。

## ■ 利益配分に関する基本方針

SBSグループは、株主の皆様への利益還元を経営の重要施策のひとつと位置付け、より強固な経営基盤の構築のために内部留保の充実を図るとともに、継続的な配当維持と業績に応じた配当水準の向上に努めることを利益配分に関する基本方針としています。

2014年12月期は、1株当たり14円の予想に対し1円増配し15円を配当金といたしました。これは前年実績から実質5円の増配となります。2015年12月期につきましては、1株当たりの配当金を16円とさせていただきます。

## 来期 (2015年12月期) の連結業績予想

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (Forecast)

売上高

**165,000** 百万円 当期比  
16.6%増

営業利益

**5,500** 百万円 当期比  
33.4%増

経常利益

**4,900** 百万円 当期比  
33.4%増

当期純利益

**3,800** 百万円 当期比  
38.2%増

## ■ セグメント別

(単位:百万円)

	物 流	不 動 産	そ の 他	消 去 等	合 計
売 上 高	150,000	8,300	6,700	—	165,000
増減率	+15.5%	+62.6%	+2.3%	—	+16.6%
営 業 利 益	2,100	3,000	400	0	5,500
増減率	+29.3%	+27.2%	+16.3%	—	+33.4%
営 業 利 益 率	1.4%	36.1%	6.0%	—	3.3%

## ■会社概要 (2014年12月31日現在)

社 名 SBSホールディングス株式会社

代表取締役 鎌田 正彦

創 立 1987年12月16日

資 本 金 39億1,821万円

売 上 高 1,415億円(連結)

所 在 地 〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3

TEL:03-3829-2222(代表)

FAX:03-3829-2822

事 業 内 容 物流事業、不動産事業、マーケティング事業、  
人材事業 他

主要連結子会社 SBSロジコム株式会社

SBSフレック株式会社

SBSゼンツウ株式会社

SBS即配株式会社

SBSフレイトサービス株式会社※

日本レコードセンター株式会社※

SBSスタッフ株式会社

SBSサポートロジ株式会社

SBSロジスティクスホールディングスシンガポールプライベートリミテッド

SBS トランスポート ロジスティクス プライベート リミテッド※

アトラス ロジスティクス プライベート リミテッド※

SBSファイナンス株式会社

株式会社エーマックス

マーケティングパートナー株式会社

※印は、間接保有の子会社です。

## ■役員 (2015年3月25日付)

代表取締役 鎌田 正彦

常務取締役 入山 賢一

取 締 役 杉野 泰治

取 締 役 渡邊 誠

取 締 役 岩崎 二郎

取 締 役 関本 哲也

常 勤 監 査 役 山下 泰博

監 査 役 正松本 重孝

監 査 役 竹田 正人

※取締役のうち、岩崎二郎、関本哲也は社外取締役です。

※監査役のうち、正松本重孝、竹田正人は社外監査役です。

## ■株式の状況 (2014年12月31日現在)

発行可能株式総数 ..... 154,705,200株

発行済株式の総数 ..... 39,703,200株  
(単元未満株1,200株を含む)

単元株制度の有無 ..... 有(100株)

株主数 ..... 3,990名

## ■大株主の状況 (2014年12月31日現在)

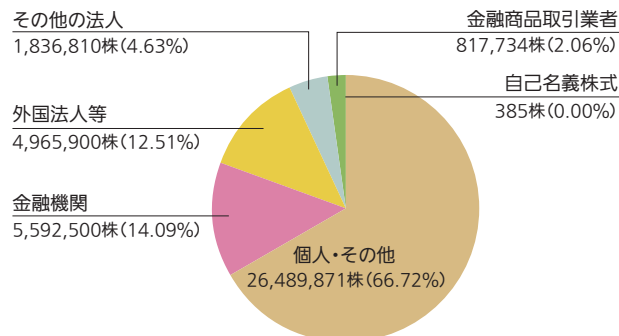
株主名	持株数	持株比率(%)
鎌田 正彦	17,888,400	45.05
SBSホールディングス従業員持株会	1,710,700	4.30
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,598,200	4.02
株式会社SMBC信託銀行	1,200,000	3.02
大内 純一	928,200	2.33
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	926,400	2.33
東武プロパティーズ株式会社	826,800	2.08
ステート ストリート バンク アンド トラ スト カンパニー505224	750,000	1.88
株式会社スリーイーコーポレーション	468,000	1.17
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	452,500	1.13

※日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)は、従業員持株会信託における再信託先であり、従業員持株会信託口が保有する当社株式481,600株を含んでおります。

※発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、少数第3位を切り捨てて表示しております。

## ■所有者別株式分布状況 (2014年12月31日現在)

(発行済株式総数:39,703,200株)



## 株主メモ

事業年度 1月1日～12月31日

期末配当金受領株主確定日 12月31日

定時株主総会 毎年3月開催

株主名簿管理人及び  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
0120-232-711 (通話料無料)

上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所 市場第一部

公 告 方 法 公告掲載URL <http://www.sbs-group.co.jp/>  
※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に  
公告いたします。

### 【ご注意】

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3 オリナスタワー  
TEL:03-3829-2222 (代表) FAX:03-3829-2822



ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC® C004858